




●めざしている「み」「な」「か」「ぜ」の子。  
あなたは今、どのくらいできていますか、と6月に2年生から6年生の子どもたちにたずねてみました。  
●グラフの下の数字は「いつも、とてもできている」、上の数字は「まあまあできている」と回答した子の割合です。

**せみ**

じぶん じぶん じぶん じぶん じぶん じぶん  
じぶん じぶん じぶん じぶん じぶん じぶん

じかーん じかーん じかーん  
じかーん じかーん じかーん  
じかーん じかーん じかーん  
じかーん じかーん じかーん



じゅう じゅう じゅう じゅう じゅう じゅう  
じゅう じゅう じゅう じゅう じゅう じゅう

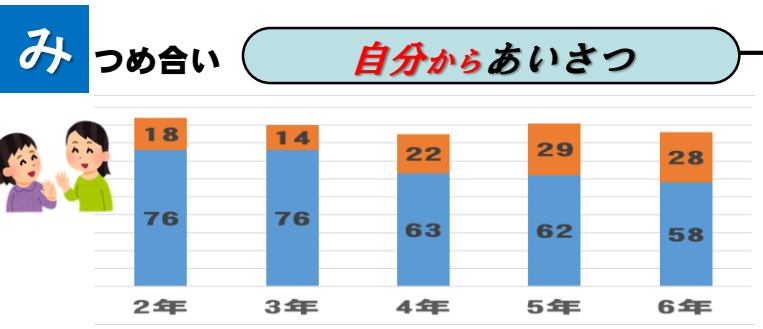
小学生のころ。セミの声とともに夏休みを過ごしていました。ニイニイゼミはもうすぐ休みのワクワク感。暑い休みに入るとアブラゼミ。クマゼミが鳴くころは休み真っ盛り、一番暑くて楽しい時。そろそろ宿題が気になるお盆過ぎはツクツクボウシ。日曜夜の「サザエさん」の何倍もの悲しさとたたかう日々。そしてたまりにたまった「夏休みの友」に仕方なしに向かうのです…

そんなセミの声も、最近の子どもたちには遠くなっているのでしょうか。虫取り網とかごをかかえて外を歩き回る子どもの姿なんて近所ではもうほとんど見ることができません。セミたちもセミたち。すっかり油断しきっていて最近樹の低いところにとまって鳴いています。高い木に登り、セミの死角からそうっと網をギリギリまで近づけサツとかぶせる…が、おしっこかけられ逃げられる。くそう、次こそ！  
楽しかった思い出も、今のこの暑さの中にかき消されそうです。

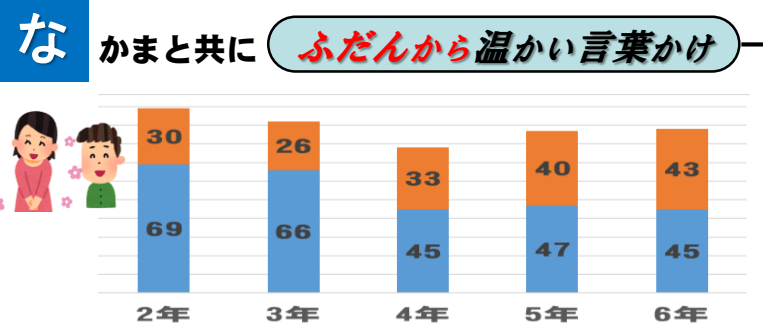
前期の前半終了。まずは子どもたちが大きな事故なくこの日を迎えることができたこと、うれしく、有り難く思います。保護者の皆さま、地域の皆さま。これまでのお子様の見守り、働きかけ、そして学校へのご理解とご協力を有難うございます。  
さあ、子どもたちは明日から夏休み。長い休みをまずはケガや病気なく笑顔で過ごせますよう。そのためには早寝、早起き。ごはんをしっかりと食べて生活を整えることが大切です。「自分で・自分から」意識し行動できるように。声かけ、励ましをよろしくお願いします。



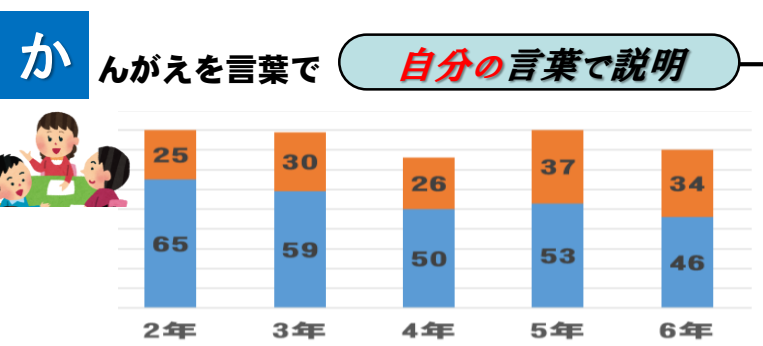
**これまでの私をふりかえって**



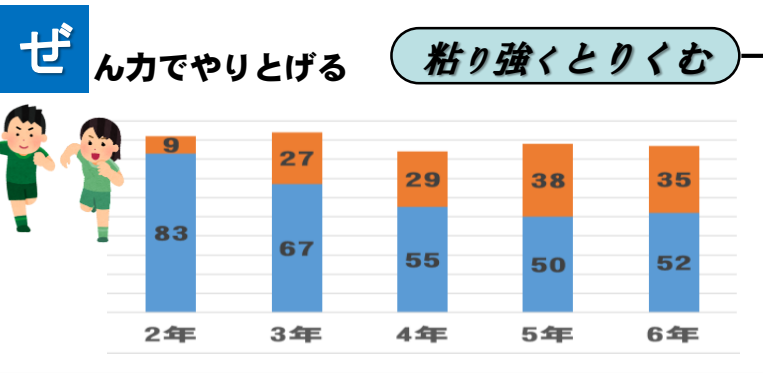
▼暑い日が続く朝の校門。それでも子どもたちの笑顔と「おはようございます」の健康な声が響いています。それも、子どもたちから。うれしいです。元気が出ます。あいさつの力、すごいですね。  
▼どの学年も8割を超える子どもが「自分から」できていると回答。すごいです。これからますます広げていきたいです。夏休み。家の中でも家族であいさつの声が響き合うよう、保護者の皆さま、どうぞよろしくお祈りします。



▼「ありがとう」「だいじょうぶ?」「いいよ」「一緒にしよう」…友達とふれあう中で、子どもたちの優しい心は温かい言葉となって相手を包みます。「ウォームハート」は南風がこれまでずっと大事にしてきた取組です。  
▼8割を超える子が「ふだんから」温かく関わり合うことができていること、うれしいです。今は「できてない」と回答している子の温かい心が言葉や態度で現れるよう、励ましていきます。



▼思ったこと、考えたことが相手に届くよう、伝わるよう、言葉を整えて説明すること。簡単ではありません。でも、とても大切、必要なこと。考えを言葉で出し合い、比べ合い、自分の考えを見つめ直しながら子どもたちの考える力、伝え合う力と手応えは高まっています。  
▼他の項目と比べると、説明はちょっと…という学年、子どもが多いようです。学習の中で、考えをつくり、説明する場をたくさん設けながら指導を続けていきます。



▼「カベ」が立ちはだかったとき。ぶつかったとき。「もう無理」とあきらめ投げ出すのではなく、挑み続けること。弱い自分に克とうとする心をつくること。人とつながること。勉強でも、そうじや日直、給食当番、委員会などの仕事でも、友達とのつながりでも。大事にしたいと思います。  
▼この項目も、どの学年も8割を超えて「できている」という子がいること、心強く思います。「粘り強い」私が増えるよう、できる、できそうな方法を示して励ましていきます。